

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月12日(水)

事務事業		常備消防車両整備管理事業		担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52131	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	備えができ安全・安心なまちづくり	根拠法令 個別計画等	NOx・PM法 埼玉県生活環境保全条例					
	小項目	2	消防・救急体制の充実							
	主要プロジェクト									
事業概要		複雑多様化する災害に対応するため、老朽化した常備消防車両を順次、最新の消防特殊車両へ更新することにより、各種災害に対応できる体制を整備するものである。また、災害時の安全性を確保するため、現在保有している常備消防車両の維持管理並びに車検整備することにより、故障原因を除去し、常時運行可能な状態に保つものである。								
目的 ※何のために		複雑多様化する災害に対応し、災害時被害の軽減をするとともに安全性を確保するため。								
対象 ※誰・何を対象に		常備消防車両。								
手段 ※どのように		最新の消防特殊車両への更新、車検整備などの維持管理をする。 ※車両年次整備計画を見直し、車両運行状況や社会情勢を見極め常備消防車両の更新を実施する。								
成果 ※何を求めるか		常備消防車両を常時運行可能な状態に維持し、火災等の災害に常時対応できる体制を整備する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防車両購入事業	156,660,240
		一般会計	9	消防費	1	消防費	3	消防施設費	常備消防車両維持管理事業	21,893,855
本事業の 主な業務		・ 常備消防車両等の更新							・	
		・ 常備消防車両の維持管理							・	
		・ 車検整備							・	
		・ 消耗品の購入							・	
		・ 梯子車保守点検							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画		上柴1号車、救急花園1号車	支援車Ⅱ型、川本1、救急深谷1、救急上柴1、深谷指揮1	寄居1、救急岡部1			
事業費	予算(現額)	157,571,000	262,669,000	136,484,000	147,089,000		
	決算額	155,750,632	178,554,095	0	0		
	財源内訳	国支出金	16,442,000	30,323,000	0	0	
		県支出金	3,749,000	92,000	0	0	
		地方債	78,100,000	118,400,000	108,100,000	113,600,000	
		他特定財源	13,798,000	7,322,450	8,469,000	9,239,000	
		一般財源	43,661,632	22,416,645	19,915,000	24,250,000	
人件費	従事職員数(人)	0.75	0.80	0.70	0.70		
	人件費相当試算※	5,902,168.00	6,408,132.00	5,852,630.00	5,852,630.00		
総事業費試算		161,652,800	184,962,227	142,336,630	152,941,630		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	車両更新率		目標値	%	100.00	100.00	100.00			
			実績値		100.00	80.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			車両年次整備計画に基づき目標値を設定/更新台数／更新予定台数						
	実績値の算出式				2／2	4／5				
活動指標 2	維持管理した常備消防車両台数		目標値	台	49.00	49.00	49.00			
			実績値		49.00	49.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全常備消防車両を維持管理するため、常備消防車両						
	実績値の算出式									
成果指標 1	火災等の災害対応率		目標値	%	100.00	100.00	100.00			
			実績値		100.00	100.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			火災等の災害に対し、対応することは消防の責務であるため、目標値は100％ / 災害対応数／災害数						
	実績値の算出式				30／30	77／77				
成果指標 2	車両トラブルにより災害に出勤できなかった回数		目標値	回	0.00	0.00	0.00			
			実績値		0.00	0.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			各種災害へ出勤し、対応することが責務のため、目標値は0 / 災害への出勤不能回数						
	実績値の算出式									
成果指標 3	1台あたりに係る車両の管理経費		目標値	千円						
			実績値		3,299.03	3,774.73				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			法定点検車両台数の増減により、管理経費が増減するため、目標値が設定できない。 / 総事業費／常備車両台数						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	車両年次整備計画に基づき計画的に消防車両を更新したが、5台中1台が次年度繰越となった。 維持管理車両のすべてを、法令に基づき計画的に車検整備、定期点検を実施するとともに、車両不具合や故障箇所の修繕を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	消防車両を適正に維持管理することで、各種災害から市民の生命、身体及び財産を保護した。故障の際は、代替車両を運用し常時災害対応が可能な状態に維持した。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	車両年次整備計画に基づき、計画的に事務を進め車両更新を行った。繰越となった車両について、必要な事務手続きを適正に行った。 維持管理車両のすべてを、計画的に車検整備及び定期点検を行うことで、有効な運用を常時可能とした。 車両不具合発生時の修繕事務について、より迅速な対応をとるための対策が必要である。
			評価者 課長補佐兼警防企画係長 坂本 浩

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	地域特性に応じた新たな複合用途車両の導入を行う。また、複数台保有している同用途車両の機能集約を図るとともに、常備車両の稼働状況等を踏まえた保有台数の適正化を推進していく。さらに、車両保有台数適正化を図るため車両維持管理の徹底を図る。
達成状況及び その効果	複合用途車両の導入は、法改正による納期の遅れに伴い年度内に納車とならなかったが、必要となる事務を適正に執行し予算の繰越について議会で承認を得た。その他の車両は更新に伴い廃車事務を進め担当課へ適正に引き継いだ。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	52131
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>各種災害対応に必要な不可欠となる消防車両が故障等により機能しなければ市民生活に甚大な影響を与えることとなる。市民が安全安心に暮らせる街づくりが保証されなければならないことから、老朽化した消防車両の更新と維持管理の徹底を図る。 車両更新を行うにあたっては、今後の人口減少や急激な高齢化の進展などを踏まえた持続可能な消防体制の構築に資するため、車両保有台数と適正な配置を再考する必要がある。 連絡車などは環境に配慮した車両への更新を計画する必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	次長兼警防課長 小暮 誠				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	常備車両の稼働状況等を踏まえた保有台数の適正化及び適正な配置を推進していく。 緊急走行をしない連絡車などは、環境に配慮したハイブリッド車両やEV自動車への更新を計画する。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	車両年次整備計画に基づく車両更新について、財政状況を鑑みると予算確保が困難となることから、日常の点検整備の徹底と、車検整備及び定期点検を適正に実施する。

8. 評価指標グラフ

区分	活動指標 1	指標名	車両更新率
区分	活動指標 2	指標名	維持管理した常備消防車両台数